



新緑が目には鮮やかな、すがすがしい季節となりました。コロナ8波も少し落ち着いてきています。

行楽によい季節となり、いろいろと計画をされていると思います。十分、コロナ感染に気を付けて大いに楽しみたいものです。

5月の開講日は右の通りです。

2023 << 5月 >>						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

## 失敗しないパソコン購入 1

### メーカー

国内メーカー	特徴
NEC(日本電気)	国内シェア NO.1 メーカー。 マニュアルやサポートが豊富で、パソコン初心者におすすめ。
FUJITSU(富士通)	落ち着きと高級感のあるデザインで幅広い年齢層から人気。 ノートパソコンとして世界最軽量の「LIFEBOOK UH」シリーズを販売するのは富士通。
Dynabook(東芝)	もとは「東芝」のブランドでしたが現在は SHARP グループの傘下。 小型かつ軽量のビジネスモデルが主力製品。
VAIO(ソニー)	スマートで高級感のあるデザインが特徴。 価格は高め。
Panasonic(パナソニック)	「Let's note」をはじめとしたビジネス向けパソコンが主流。 値段は高めだが、壊れにくく携帯性に優れたモデルが魅力。
EPSON(エプソン)	EPSON=プリンター類という印象がありますが、実はパソコンも作っています。主力の製品は「Endeavor(エンデバー)」シリーズで法人向けが中心です。

国内メーカーのパソコンはよく家電量販店などで見かけることがありますが、実は海外メーカーと比較すると値段が高め。無償の保証は基本的に1年ですが、有償の長期保証(3年~4年)が設定でき価格も安めです。サポート面では日本語でのメールや電話に対応しているので、パソコン初心者の方におすすめ。ただ、メーカー製のソフトウェア(アプリ)が盛りだくさんインストールされている傾向があります。セキュリティソフトも初めから一定期間インストールされている場合が多いです。安いからといって、買ったらくサクとは動かなかったといったことや office ソフトが入っていなかったということがありますので注意が必要です。

海外製メーカー	特徴
Microsoft (マイクロソフト)	アメリカ合衆国のメーカー Windows や Office ソフトを作った会社。 主力製品の Surface シリーズの 2in1 パソコンが有名。 Surface Laptop は価格が高が、高品質で見た目もカッコいい！
HP (ヒューレッドパッカード)	アメリカ合衆国のメーカー 性能に対する価格が安いことで有名。 一部の製品は国内(東京都日野市)で生産されている。 安価なエントリーモデルからゲーミングモデルまで、製品の幅が広い。
Lenovo (レノボ)	中国のメーカー。価格が安い。 独創的で洗練されたデザインのパソコンが多い。 中国メーカーですが、知名度も高く、品質も問題なし。
DELL (デル)	アメリカ合衆国のメーカー HP と同水準の価格の安さ。 パソコンはもちろん、モニターなどの PC 周辺製品も魅力的。
ASUS (エイセス)	台湾のメーカー 自作パソコンのマザーボードなど、パソコン部品も作るメーカー。 オシャレで低価格なノートパソコンが売れ筋 NO. 1。
Acer (エイサー)	台湾に本社を構えるパソコンメーカー。 パソコンの価格は比較的安めで、ゲーミングモデルも製造している。 Gateway を買収しましたが、Acer 内ブランドとして名前は残っている。
LG (エルジー) -	韓国メーカー 超薄型で高性能な『gram(グラム)』が主力製品。 パソコン、スマホ共に高性・軽量・独創的な製品が多い。
Apple (アップル)	言わずと知れたスマートフォンのパイオニア。 Mac は、値段が高いと言われがちですが、現在はそこまで高くない。 むしろカスタマイズを控えれば安いくらい。 当たり前だが Windows 製品は無く、MacOS 製品のみ。

海外メーカー製のパソコンは性能に対する値段が安い傾向にあります。初めからインストールされているソフトも少なく、パソコン初心者から上級者までどの層にもおすすめです。使い勝手は国内のパソコンメーカーと同じです。海外メーカーのパソコンでも安心して購入できます。無料の保証期間が1年で固定されているメーカーが多い。サポートが充実しているのは、HP (ヒューレッドパッカード) DELL (デル) Lenovo (レノボ) です。

※次回112号では、性能を決める部品について解説します。